

令和6年度

自 令和 6年4月 1日

至 令和 7年3月31日

公益財団法人高知県のいち動物公園協会事業計画及び収支予算書

高 知 県

目 次

令和6年度事業計画	-----	1
令和6年度収支予算書	-----	7
令和6年度収支予算書内訳表	-----	9

# 令和6年度事業計画

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

## 第1 基本方針等

### 1. 人も動物もいきいきとする動物公園の管理運営の実施

高知県立のいち動物公園は、県民の健康の増進と教育・福祉の向上を目的とする本格的な動物公園を有する都市公園法に基づく総合公園として設置されており、公益財団法人高知県のいち動物公園協会（以下「協会」という。）は、その設置目的を達成するため「人も動物もいきいきと」を合い言葉として、自然豊かな環境の中でいきいきとした動物たちを観覧しながら楽しみ、遊び、学べる動物公園として管理運営を行います。

### 2. 県民に信頼される動物公園の管理運営の実施

高知県立都市公園条例や各種法令等を遵守するコンプライアンス意識と透明性の確保、さらに来園者等の安全性を確保するとともに、南海トラフ地震や感染症等に対する危機管理意識を高く持って、県民に信頼される管理運営を行います。

### 3. 動物公園の平等利用に関する考え方

県立の都市公園施設として、子どもたちや家族連れはもちろんのこと、高齢者や障がい者、さらに外国の方など来園者全てが等しく施設を利用しサービスを享受できるようにするとともに、ユニバーサルデザインに配慮した施設に進化するように、PDCAサイクルを機能させて、ハードとソフト両面でのサービスの改善を図りながら利用者本位の管理運営を行います。

こうした取り組みを推進することで年間入園者数20万人超えを目指します。

協会としての理念 ～協会が目指す動物公園～	
人も動物もいきいきとする動物公園	県民に信頼される動物公園
理念を実現するための基本方針	
①動物園の重要な使命、役割の中でも特に、広く県民のレクリエーションの場としての使命・役割を最大限に発揮し、より多くの来園者を迎えます。 ②種の保存に貢献します。 ③自然保護及び生物多様性の大切さを多くの方々に伝えていきます。 ④人と動物にやさしい管理運営を行います。 ⑤地域や関係団体との連携に努めます。	①人と動物に安全な管理運営を行います。 ②危機管理体制を構築します。 ③職員の専門性の向上などに取り組みます。 ④経常収支の黒字を目指します。

## 第2 実施計画

### 1 高知県立のいち動物公園の維持管理運営事業

#### (1) 施設等の維持管理業務

##### ア 安全性の確保

○職員等による施設等の日常点検や関係法令に基づく点検や検査、巡回、また計画的な修繕を実施することで施設等の安全性を確保します。

##### イ 災害・危機管理への対応

○地震発生時における災害防止と被害軽減を図るため、地震防災対策規程を作成しており、その規程に基づき防災資機材の点検整備や避難誘導訓練等を実施し、来園者や職員等の安全を確保します。

○新型コロナウイルスや高病原性鳥インフルエンザを始めとした感染症の予防対策を徹底させ、来園者や職員等の安全を確保します。

##### ウ 快適性の確保

○「ちびっこ噴水」の活用や既存のミスト設備の更新を行い、暑熱対策を強化します。

○園内の清掃は、入園者の状況やイベントの開催状況、季節的な要因も加味して実施するとともに、園内の全面禁煙への協力を要請していきます。

##### エ 施設の平等利用

○園内の案内表示については、大きな文字やふりがな、英語を使って多くの利用者が理解しやすく、また図やピクトグラム（視覚記号）等を活用して感覚的に分かりやすいように常に意識し、新設、更新を行っていきます。

○授乳室の設置やベビーカーの貸し出しなどきめ細やかなサービスを行うことで、子育てに優しい施設運営を行っていきます。

##### オ バイオームゾーニングの維持

○動物と植物を一体化し生息環境を再現するバイオームの各ゾーニング（温帯の森、熱帯の森等）に相応しい修景となるよう植栽の維持管理を行います。

#### (2) 動物の飼育等

##### ア 展示動物の確保と見直し

○ブリーディングローンや飼育動物の交換等により、展示動物の確保を図るとともに、確保が困難な動物種については、現状レベル以上の展示効果を目指して動物種の変更を検討し県に提案していきます。

○県が策定するコレクションプランに従い、動物種の入手に努めます。

○繁殖等で余剰となった動物については、密飼い防止や経費・労力の節減等のため、適正な利用目的で要望する動物園等へ搬出します。

○国内での動物入手が困難になっていることから、東南アジアを中心とした海外施設と積極的に交流し関係性を深めることにより、動物交換や譲渡による動物の入手に努めます。

#### イ 飼育管理

○飼育作業上の安全管理を徹底し、飼育職員と飼育動物双方の事故防止を図ります。

○飼育動物それぞれの生態特性を十分に把握し、動物福祉の観点から動物が快適に暮らせる飼育環境を整備し提供します。

○動物公園の歴史と共に高齢化してきた動物たちに対して適切なケアを行い終生飼育に努めます。

#### ウ 動物の展示方法

○種の特性を踏まえた展示環境・展示内容を常に考慮・検討し、動物本来の姿や行動が見られるように努めます。

#### エ 動物の繁殖

○動物の希少性や入手難易度、繁殖状況等により分類した繁殖カテゴリー表に基づいて繁殖計画を策定し実施します。

#### オ 緊急時の対応

○飼育動物が脱出した場合を想定し策定した動物脱出対策規程に従い、特定動物種（チンパンジー、ブチハイエナ等）が脱出した場合を想定して、捕獲・収容等の訓練を実施します。

#### カ 緊急保護動物の受入れ

○経済産業省から(公社)日本動物園水族館協会を通じた依頼により、密輸等で緊急保護された動物の受入を行います。

### (3) 地域や関係機関との連携や協働

○のいち動物公園ボランティアーズ（N Z V）と連携・協力して、動物解説やイベント等を実施し、来園者サービスの向上を図っていきます。

○物部川DMO協議会や近隣の民間施設等をはじめ、高知県や香南市等と連携・協働し、イベントの企画や情報発信に努めます。

### (4) 安全の確保

○新型コロナウイルスや高病原性鳥インフルエンザ等の感染防止対策を講じるとともに、消毒の徹底等を来園者に呼びかけ、誰もが安心して利用できる施設運営を行います。

○来園者の安全を確保するため、進入禁止区域などの注意表示の設置に加え、来園者への緊急情報の伝達は、園内放送や職員などからの伝達により実施します。

○職員の安全を確保するため、産業医や衛生管理者等による巡回指導に加え、業務上の作業の必要性に応じて安全衛生教育等を受講させます。

(5) 来園者ニーズ等への対応

- 「のいちの風委員会」や来園者満足度調査、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）やトリップアドバイザー等を通じていただいたご意見を業務の改善に活かしていきます。
- 寄せられた苦情等については、業務の進め方を見直す良い機会と捉え、誠意をもって速やかに対応するとともに、協会内での情報共有に努めます。
- 接客マナーのより一層の向上を図るため、外部研修会等へ職員を参加させます。
- 春休み期間や年末などには、定休日にも開園します。

(6) 入園者を増やす取り組み

ア 動物や動物公園を紹介するイベント等の実施

- 開園記念日や恒例の「夜の動物公園のいち de ナイト」でのイベント及びどうぶつ科学館での企画展の内容を充実させ来園者の満足度を高めていきます。
- ゴールデンウィークや夏休み、正月といった季節毎のイベント、探鳥会など自然・体験型のイベント、さらには動物の繁殖や搬出入時のイベント等も引き続き実施します。

イ 宣伝・広報による情報発信

- メディアにイベント情報などを記事やニュースとして取り上げてもらいやすいような表現・内容で情報発信に努めます。
- ホームページで来園者が求める情報を分かりやすく提供するとともに、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を通じてフォロワーにダイレクトに動物公園の新しい情報をお伝えし、少しでも情報を拡散してもらえるよう取り組み潜在顧客の掘り起こしを図ります。
- 県内外の商談会等に参加し、旅行会社等に当園のPRを行うとともに顧客ニーズを把握し県内外からの来園者増に繋げていきます。
- 当園公式のスマートフォン専用アプリ「i 動物園」を通じてイベント情報等を提供していきます。
- 機関誌「ZOO ファミリー」の定期購読を開始します。

ウ 教育活動

- 生物多様性の保全や環境教育、生涯学習の場としての役割を果たす動物展示やイベントを実施します。
- 園内の各ゾーン（温帯の森、熱帯の森等）の修景・植栽を活用し教育効果を引き出せるように解説等のサインを更新していきます。
- 小学校等からの要請に応じて、遠足時や校外学習の一環等として、普段は見ることのできない獣舎見学や職員による動物解説などの団体レクチャー、学習プログラム「もっと知りたい！モルモット」を実施す

るほか、職員が学校等へ出向いて授業を実施します。

- 中学生と高校生を対象とした職場体験学習や、専門学校生等の飼育実習等を実施します。
- 当園のオリジナル体操「のいち de どうぶつ体操♪」に関するイベントを定期的実施し、香南市の幼稚園及び保育園に参加を呼びかけます。
- 動物の頭骨や教育用ビデオを、どうぶつ科学館での団体レクチャーや学校への貸し出し等に使用します。
- 動物図鑑等の新刊を購入し、どうぶつ科学館の図書コーナーの充実を図ります。

#### エ 施設の平等利用のための取り組み

- 障がいのある子どもらを閉園後に招待する「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」や、視覚に障害のある方を主な対象とした「さわる動物園」を開催し、障がい者の利用促進を図ります。
- ミルク用お湯の提供やベビーカー、車椅子、傘の貸し出し、外国語パンフレットの常設などに取り組みます。
- 園路の坂道が苦手な高齢者等への対応として、ジャングルミュージアムのエレベーターを利用した観覧コース「緩やかコース」を設定しており、その広報に努めます。

#### (7) 動物サポーターを増やす取り組み

- 特定の飼育動物の餌代を支援していただき、里親として飼育動物たちに愛着を持っていただく動物サポーターを増やすために、チラシの配布やホームページ等での広報に力を入れて入会を促します。
- ホームページでの入金を始めます。

#### (8) 来園者への飲食サービスやオリジナル商品の販売等

- レストランでは、県内の産品を活用したメニューを取り入れ、地産地消に結び付くように運営するとともに、屋台では軽食を中心に販売し、来園者サービスの向上に努めます。
- 売店では、動物公園らしい商品構成を目指し、オリジナル商品の開発に取り組むとともに、POSレジによる効率的な商品管理を実施し、購買情報の分析により売上げ増に努めます。

#### (9) リサイクルの取り組み

- キリンなど草食動物の糞、敷き藁等を原料として発酵機にかけて行う有機肥料の生産を行い、生産した有機肥料を来園者や自家菜園等の希望者に無料配付し、環境教育にも繋げていきます。

(10) 健全な財政運営の確保

- 来園者の増加や便益事業での売上増加を図ることにより、収益増加に努めます。
- 費用の計上は発生主義を基本とし、収支状況の迅速な把握などを行い、適正な予算管理に努めます。

2 野生動物の保護及び調査研究事業

(1) 野生動物の保護と啓発

- 県の傷病野生鳥獣保護治療事業の一環として野生動物を保護し、治療やリハビリを経て野生復帰させる他、ホームページでの情報発信やバードリハビリケージの公開等を通じて、自然保護や野生動物保全の重要性についての啓発を図ります。

(2) 野生動物の調査研究

- 園内では、アサギマダラのマーキング調査を継続実施する他、野鳥やホタル等の昆虫類の生息調査を行い、その調査結果を野生動物や自然認識の啓発に活用します。また、関係機関と連携して、地域に生息する野生動物の調査研究に取り組みます。

3 支援・協力事業

(1) 動物愛護事業

- 学習プログラムを用いた団体教室や小学校等への出前授業等の各種講習時に命の大切さなど、動物愛護の啓発普及に努めます。

# 令6年度収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,000	1,000	0
基本財産受取利息	1,000	1,000	0
特定資産運用益	2,390,000	10,000	2,380,000
運営基金受取利息	2,390,000	10,000	2,380,000
受取会費	0	150,000	△ 150,000
のいち動物公園友の会受取会費	0	150,000	△ 150,000
事業収益	524,613,000	506,399,000	18,214,000
管理代行事業収益	466,503,000	450,719,000	15,784,000
管理代行事業収益	429,238,000	418,219,000	11,019,000
入園料等収入	37,212,000	32,500,000	4,712,000
利用料金収益	53,000		53,000
寄託動物管理費収益	180,000	180,000	0
便益事業収益	57,930,000	55,500,000	2,430,000
動物購入受託収益	0	0	0
受取寄付金	2,031,000	1,560,000	471,000
受取寄付金	100,000	100,000	0
サポ-ター収益	1,931,000	1,460,000	471,000
雑収益	302,000	280,000	22,000
受取利息	30,000	30,000	0
雑収益	272,000	250,000	22,000
<b>経常収益計</b>	<b>529,337,000</b>	<b>508,400,000</b>	<b>20,937,000</b>
(2) 経常費用			
事業費	522,073,000	501,562,000	20,511,000
役員報酬	10,031,000	10,031,000	0
給料手当	150,707,000	151,366,000	△ 659,000
賃金	45,111,000	39,681,000	5,430,000
退職給付費用	18,279,000	1,974,000	16,305,000
福利厚生費	32,439,000	32,254,000	185,000
会議費	17,000	31,000	△ 14,000
報償費	1,753,000	1,776,000	△ 23,000
旅費交通費	1,507,000	1,496,000	11,000
通信運搬費	1,368,000	1,911,000	△ 543,000
減価償却費	0	0	0
什器備品費	2,465,000	3,061,000	△ 596,000
消耗品費	15,585,000	14,637,000	948,000
修繕費	12,004,000	11,300,000	704,000
印刷製本費	2,542,000	2,504,000	38,000
燃料費	935,000	977,000	△ 42,000
光熱水料費	56,135,000	60,778,000	△ 4,643,000
賃借料	6,634,000	6,423,000	211,000
飼料費	44,051,000	43,308,000	743,000
保険料	640,000	671,000	△ 31,000
広告費	2,106,000	2,061,000	45,000
手数料	1,267,000	1,201,000	66,000
諸謝金	138,000	138,000	0

# 令6年度収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
租税公課	25,566,000	22,520,000	3,046,000
負担金	595,000	725,000	△ 130,000
原材料費	6,302,000	6,551,000	△ 249,000
商品売上原価	24,783,000	21,613,000	3,170,000
委託費	59,075,000	62,536,000	△ 3,461,000
雑費	38,000	38,000	0
予備費	0	0	0
管理費	7,264,000	6,838,000	426,000
役員報酬	1,786,000	1,786,000	0
給料手当	3,075,000	3,089,000	△ 14,000
賃金	0	0	0
福利厚生費	638,000	630,000	8,000
会議費	4,000	7,000	△ 3,000
旅費交通費	36,000	36,000	0
通信運搬費	31,000	31,000	0
消耗品費	64,000	64,000	0
修繕費	0	0	0
印刷製本費	97,000	97,000	0
賃借料	17,000	17,000	0
保険料	71,000	71,000	0
手数料	9,000	9,000	0
諸謝金	138,000	138,000	0
租税公課	500,000	500,000	0
委託費	798,000	363,000	435,000
<b>経常費用計</b>	<b>529,337,000</b>	<b>508,400,000</b>	<b>20,937,000</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0
中科目別記載	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
中科目別記載	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	59,585,527	65,412,515	△ 5,826,988
一般正味財産期末残高	59,585,527	65,412,515	△ 5,826,988
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	298,455,163	298,455,163	0
指定正味財産期末残高	298,455,163	298,455,163	0
III 正味財産期末残高	358,040,690	363,867,678	△ 5,826,988

令和6年度収支予算書内訳表 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで（単位：円）

事業名称 科目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引消去	合計
	1 のいち動物公園の維持管理運営事業	2 野生動物の保護及び調査研究事業	3 支援・協力事業	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	1,000	0	0	1,000	0	0	1,000
基本財産受取利息	1,000	0	0	1,000	0	0	1,000
特定資産運用益	2,390,000	0	0	2,390,000	0	0	2,390,000
運営基金受取利息	2,390,000	0	0	2,390,000	0	0	2,390,000
受取会費	0	0	0	0	0	0	0
のいち動物公園友の会受取会費	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	517,099,000	220,000	30,000	517,349,000	7,264,000	0	524,613,000
管理代行事業収益	458,989,000	220,000	30,000	459,239,000	7,264,000	0	466,503,000
管理代行事業収益	421,724,000	220,000	30,000	421,974,000	7,264,000	0	429,238,000
入園料等収入	37,212,000	0	0	37,212,000	0	0	37,212,000
利用料金収益	53,000	0	0	53,000	0	0	53,000
寄託動物管理費収益	180,000	0	0	180,000	0	0	180,000
便益事業収益	57,930,000	0	0	57,930,000	0	0	57,930,000
動物購入受託収益	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	2,031,000	0	0	2,031,000	0	0	2,031,000
受取寄付金	100,000	0	0	100,000	0	0	100,000
サポ-タ-収益	1,931,000	0	0	1,931,000	0	0	1,931,000
雑収益	302,000	0	0	302,000	0	0	302,000
受取利息	30,000	0	0	30,000	0	0	30,000
雑収益	272,000	0	0	272,000	0	0	272,000
<b>経常収益計</b>	<b>521,823,000</b>	<b>220,000</b>	<b>30,000</b>	<b>522,073,000</b>	<b>7,264,000</b>	<b>0</b>	<b>529,337,000</b>
(2) 経常費用							
事業費(法人会計は管理費)	521,823,000	220,000	30,000	522,073,000	7,264,000	0	529,337,000
役員報酬	10,031,000	0	0	10,031,000	1,786,000	0	11,817,000
給料手当	150,707,000	0	0	150,707,000	3,075,000	0	153,782,000
賃金	45,111,000	0	0	45,111,000	0	0	45,111,000
退職給付費用	18,279,000	0	0	18,279,000	0	0	18,279,000
福利厚生費	32,439,000	0	0	32,439,000	638,000	0	33,077,000
会議費	17,000	0	0	17,000	4,000	0	21,000
報償費	1,753,000	0	0	1,753,000	0	0	1,753,000
旅費交通費	1,507,000	0	0	1,507,000	36,000	0	1,543,000
通信運搬費	1,368,000	0	0	1,368,000	31,000	0	1,399,000
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0
什器備品費	2,465,000	0	0	2,465,000	0	0	2,465,000
消耗品費	15,508,000	47,000	30,000	15,585,000	64,000	0	15,649,000
修繕費	12,004,000	0	0	12,004,000	0	0	12,004,000
印刷製本費	2,542,000	0	0	2,542,000	97,000	0	2,639,000
燃料費	935,000	0	0	935,000	0	0	935,000
光熱水料費	56,135,000	0	0	56,135,000	0	0	56,135,000
交際費	0	0	0	0	0	0	0

令和6年度収支予算書内訳表 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで（単位：円）

事業名称 科目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合計
	1 のいち動物公園の維持管理運営事業	2 野生動物の保護及び調査研究事業	3 支援・協力事業	小計			
賃借料	6,634,000	0	0	6,634,000	17,000	0	6,651,000
飼料費	43,928,000	123,000	0	44,051,000	0	0	44,051,000
保険料	640,000	0	0	640,000	71,000	0	711,000
広告費	2,106,000	0	0	2,106,000	0	0	2,106,000
手数料	1,217,000	50,000	0	1,267,000	9,000	0	1,276,000
諸謝金	138,000	0	0	138,000	138,000	0	276,000
租税公課	25,566,000	0	0	25,566,000	500,000	0	26,066,000
負担金	595,000	0	0	595,000	0	0	595,000
原材料費	6,302,000	0	0	6,302,000	0	0	6,302,000
商品売上原価	24,783,000	0	0	24,783,000	0	0	24,783,000
委託費	59,075,000	0	0	59,075,000	798,000	0	59,873,000
雑費	38,000	0	0	38,000	0	0	38,000
予備費	0	0	0	0	0	0	0
<b>経常費用計</b>	<b>521,823,000</b>	<b>220,000</b>	<b>30,000</b>	<b>522,073,000</b>	<b>7,264,000</b>	<b>0</b>	<b>529,337,000</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0
2. 経常外増減の部	0	0	0	0	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	51,221,705	0	0	51,221,705	1,903,702	0	53,125,407
一般正味財産期末残高	51,221,705	0	0	51,221,705	1,903,702	0	53,125,407
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	298,455,163	0	0	298,455,163	0	0	298,455,163
指定正味財産期末残高	298,455,163	0	0	298,455,163	0	0	298,455,163
III 正味財産期末残高	349,676,868	0	0	349,676,868	1,903,702	0	351,580,570